

# 町役場の体質改善のためにも厳正な捜査を

9日、議員有志（西川、野瀬、山田裕康、山田充、岡田、西澤）の連名で「甲良町公金横領事件に関わる要請書」を彦根警察署に提出。5人（岡田議員は用事で欠席）が彦根署警務課課長・日高氏に手渡し面談しました。面談では、社会的に影響の大きな事件であり、警察だけでなく検察とも連携して取り組んでいるなどの説明がありました。甲良町民の声を伝え、「彦根署のメンツにかけ」（山田充議員）などと要請しました。

## 甲良町公金横領事件 に関わる要請書

日ごろより、住民の安全安心確保のためご尽力いただき、また、甲良町公金横領事件に対しましては格別のご努力賜り、心より感謝申し上げます。

さて、甲良町における公金横領事件が発覚してから早や一年が経過しました。昨年11月には北川町長において刑事告訴がされました。すでに3か月が経ちます。テレビ報道等にてKが横領の

実行を堂々と自白しているにも関わらず逮捕もされない、強制捜査もされない現状に、甲良町民はもとより多くの方々には不安と疑問を募らせている様子です。巷では「親が3000万円弁償したから手を緩めているのとかがうか？」などの声が聞かれ

ます。

町の公式見解でも「被害額は3000万円を超える」とされており、私どもは、甲良町行政の「ズサンさ底見えず」の現状があまりにも深刻で、データが膨大なため、横領額の確定、証拠の精査に時間を要していると聞き及んでおり、承知はしているものの、一刻も早い強制捜査への着手を願っているものです。さらに、着服金額の膨大さに加え、その不祥事が数年にも及ぶことから「複数犯」「ぐるみ犯」の疑いさえ懸念されています。すでに、その視野

も含めて捜査が進められているものと存じますが、申し添えます。

以上、甲良町公金横領事件の全容解明、刑事責任の明確化に資するよう厳正なる捜査が進められるよう要請いたします。



お元気で  
すか

のぶあきです

世界と日本の政治の大激動を身近に感じる「事件」が10日、駆け巡りました。南スーダンに派遣の自衛隊を5月に撤収すると政府が発表。森友学園の籠池理事長が小学校の新設認可申請を取り下げたと。そして韓国の朴槿恵（パク・クネ）大統領が憲法裁判所の「弾劾は妥当」との決定を受け罷免。いずれも、国民の「こうこうたる非難が起こり、歴史を動かした、政治を動かした瞬間だと受けとめ、感慨深いものが。でも、権力者たちの対応を聞くと、根本的な反省は一切ありません。南スーダンからの撤収表明では、首都ジュバは比較的安定」などと、深刻な内戦状態にあることを隠す魂胆、「戦闘」を「衝突」に言い換える姑息さは変わりありません。森友学園の国有地格安売却をめぐる政治家関与疑惑は引き続き解明が必要。くらしと平和を守り、政治を前に進める努力は「あきらめない」「みんなが結束する」「ことが何より大事と教えているなあと改めて思いました。

ご意見・ご要望をどうぞ。

くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123 松元たけし 38 3875

日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

## 甲良民報

2017年3月12日 697号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在土463（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242